

(本リリースは、2018年9月27日に米国 Entrust Datacard(本社:ミネアポリス)で発表されたニュースリリースの抄訳です。)

Entrust Datacard と ADLINK、エッジ環境での信頼を実現するために提携

信頼の ID とセキュアなトランザクション技術のトッププロバイダーである米国 [Entrust Datacard](#) と、業界トップクラスのエッジコンピューティングソリューションのグローバルプロバイダーである [ADLINK Technology, Inc.](#) は、本日、IoT セキュリティの採用にとって最も大きな障壁の 1 つを解決するために新たな提携を結んだことを発表しました。この提携により、インダストリアル IoT (IIoT) セキュリティモデルを作成し、製造工程とそのアプリケーション、エンドポイントやエッジデバイスに至るまで、IoT バリューチェーン全体を通じてデータストリーム向けのセキュアな通信が可能となります。

この提携により、Entrust Datacard の ioTrust™ セキュリティソリューションが、ADLINK の Vortex Edge™ ソリューションに統合されることとなります。この強化された共同ソリューションは、あらゆるエンドポイント、アプリケーション、コンテナ、データストリームにおいて、システムとモノのセキュアな運用を迅速に行えるようになります。また、顧客は最終的に、IoT 環境の配備初期段階から完全なロールアウトに至るまで、IoT エコシステム全体を通じて信頼できるアイデンティティの確立と保護が行えるようになります。

また、この共同ソリューションには、ADLINK の DXS (Digital Experiments-as-a-Service) の一部が含まれることになっています。DXS は、IoT ソリューションの設計、戦略、組織的な互換性、投資対効果の有効性を検証し評価することを目的として設計されたものです。DXS を利用することで、セキュリティに配慮した設計のエッジ IoT プロジェクトの開発を検討している企業や組織は、自分達が巨額な前払い費用を必要とせずに数多くのシナリオを施行できることが分かるため、自信を持ってプロジェクトを進めることができるようになります。DXS は通常、3ヶ月間のサービス契約として提供され、これには、市場トップクラスのパートナーからなるエコシステムによりサポートされる Vortex Edge™ マイクロサービスの総合スイートへのアクセス権が含まれています。DXS を導入すると、カスタムメイドの複雑なシステムを構築する必要がなくなります。

Entrust Datacard の CTO バイスプレジデント兼 IoT ソリューション部門ゼネラルマネジャーである Josh Jabs は次のように話しています。「IIOT は急速に進歩しており、顧客はテスト環境から本番環境へと迅速に移行するための効果的な方法を求めています。しかし、調査を重ねた結果、統合がもたらすセキュリティと複雑さが、2つの主な開発上のボトルネックであり続けることが判明しました。ioTrust を ADLINK ソリューションへと統合し、開発オプションを顧客によるテストアンドビルドプロセスと調和させることで、我々はこれらの障壁を取り除き、顧客がターンキー型のデータ分析と自動化をエッジ環境に対してセキュアに提供できるようにしました」。

ADLINK と Entrust Datacard は協働で、クラウド環境や IoT 環境のエッジにおいて、アプリケーション間のデータの流れを制御する予定です。また、この提携により、他社のソリューションには見られない高度なきめ細かさで、エッジ環境におけるデータストリームのセキュアな通信（保存時、送信時、利用時）が可能となります。さらに、このような高度なきめ細かさにより、顧客は、ユニークなデータストリームの制御や監視が行えるようになるほか、同データストリームの収益化さえも可能となります。

ADLINK のソフトウェアおよびソリューション部門ゼネラルマネジャーの Lawrence Ross 氏は次のように述べています。「当社の DXS (Digital Experiment-as-a-Service) オフリングは、企業や組織が、IoT ソリューションの及ぼす影響に基づいて1つまたは複数のビジネス仮説を検証および評価する場合に役立ちます。ioTrust の持つユニークなセキュリティ機能と特定のテクノロジーにとらわれない設計を当社の DXS と統合することにより、我々は当社の顧客に、IoT ベースの試みに適したよりセキュアなソリューションを提供できるようになるほか、エッジ環境におけるターンキー型のデータ分析用のプロセスを作成できるようになります。この統合ソリューションを利用することで、顧客は、ユースケースの検証を実施した後、セキュアな本番環境へと迅速に移行できるようになります」。

Entrust Datacard と ioTrust™ セキュリティソリューションの詳細については、japan.entrust.com/solutions/iotrust/をご覧ください。

ADLINK が提供する DXS (Digital Experiments-as-a-Service) の詳細については、https://www.adlinktech.com/Products/IoT_solutions/Vortex_Edge/DXS?lang=en をご覧ください。

Entrust Datacard について

顧客、市民、従業員は、物品の購入、国境の通過、電子政府サービスへのアクセス、企業ネットワークへのログオンのどれを行う場合であれ、いつでもどこでも快適なエクスペリエンスが得られることをますます期待しています。Entrust Datacard は、これらのエクスペリエンスをセキュアで信頼できるものにする、信頼できる ID とセキュアなトランザクション技術を提供します。ソリューションには、金融機関のカード、パスポート、ID カードのような物理的な世界から、認証、証明書、セキュアな通信のようなデジタル世界に至るまでの幅があります。2,000 名を超える世界中の Entrust Datacard の従業員と、強力なグローバルパートナーのネットワークにより、同社は、世界中の 150 ヶ国でお客様にサービスを提供しています。詳細は、<https://japan.entrust.com> をご覧ください。